

一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

平成30年8月22日
東村山市議会議長 あて

議席番号 9番
質 問 者 村山淳子

記

1. 前川の防災・減災（護岸整備など）について

前川は、これまで何度も台風やゲリラ豪雨により氾濫し、溢水を起こしています。同時に、激流によって護岸の玉石などが崩落、危険な状況となり、急きょ予備費を充当するなど補修工事を実施しています。護岸自体が老朽化し護岸が傷んでいることから、計画的に整備していく必要があると考えます。前川の護岸整備など、防災・減災に関連した事項について、以下伺います。

（1） 前川の状況について

- ① 護岸の整備は、崩落した箇所以外でおこなっているか。
- ② 近年で、崩落した護岸と補修工事を要した箇所は何箇所か。
- ③ 玉石の護岸部分は、どのくらいあるのか。
- ④ 万年堀やブロック堀で仕切られている場所があるが、何のためか。
- ⑤ 現状で、整備が必要と捉えている場所はあるか。予定は。
- ⑥ 安全な護岸にするためには、どのような整備手法があるか。既に実施した場所はあるか。
- ⑦ H.30年度に浚渫する場所と実施時期は。
- ⑧ 都市計画道路3・4・10号線や化成小学校校庭への一時貯留施設整備に向けた検討を進めていると思うが、これまでにおこなった検討内容は。

（2） 前川の沿道について

- ① 護岸と同様に大雨の影響で沿道部分が削り取られ、補修工事をおこなった場所はあるか。
- ② 補修工事が必要となった場所と同じ造りになっている場所はどのくらいあるか。
- ③ 現状で、整備が必要と捉えている場所はあるか。予定は。
- ④ 川の沿道にガードレールが設置してあるが、これは転落防止用か。

- ⑤ 化成小西側の川沿いの一部は、ブロックの積み上げとフェンスが設置してある。その理由は。
 - ⑥ 沿道が削られている場所が見受けられ、ガードレールが崩落しないか心配な場所がある。点検はおこなっているか。
- (3) 水位計について
- ① 水位計の設置箇所は。
 - ② どのような機能のものか。
 - ③ 危険と判断される水位になった場合の対応と市民への周知は。
- (4) 橋の銘板について
- ① 橋の名称がわからないことで、災害時、避難誘導の際に混乱をきたすことはないか。
 - ② ラミネートを利用して、名称を表示している橋が多い。現在（H.30.8.18）、傷んで名称がわからない状態になっている。耐久性のあるものに変更する予定は。
- (5) 旧前川緑道について
- ① 沢の堀は、安全対策が進められているが、旧前川緑道の安全性は確保されているか。
- (6) 総括
- ① 前川の防災・減災として、護岸整備を計画的に実施すべきと考える。市長の考えは。

2. 小中学生の英語力アップに向けて

平成 23 年度から新学習指導要領が実施され、小学校でも年間 35 時間の外国語活動が必修化となり、ますます英語が重要になってきます。各自治体も英語の授業に力を入れ始めています。当市が、子どもたちの英語教育に力を注ぐことは、東村山市の魅力・強みにもなると考えます。そこで、多くの生徒が身近に英語力アップを目指す励みとなる取組みについて、以下伺います。

- (1) 英語力アップの取組みについて
- ① 当市で推進している英語力アップの取組みは。
 - ② 外国語指導助手（ALT）の配置状況と効果は。
 - ③ 英語に親しみを持てるよう、ALT を交えて子どもたちが英語だけで生活する宿泊型研修（イングリッシュキャンプ）を実施してはどうか。
- (2) 英検（実用英語技能検定）取得状況について
- ① 各校でおこなっている英検取得に向けた取組みは。

- ② 当市中学生の英検取得状況は。(取得率、目標)
 - ③ 英検にチャレンジすることで、学習意欲のアップにつながると考える。中学3年生を応援する「英検取得チャレンジ事業」を導入したらどうか。見解は。
- (3) 総括
- ① 東村山市教育委員会の基本方針の中に、「国際社会に生きる日本人を育成する」とある。多くの生徒が身近に英語力アップを目指すことができるよう取組んではどうか。教育長の考えは。